

平成21年1月19日

地域果樹振興対策会議 御中

広島県果樹振興対策会議

かんきつ類寒害緊急対策について(第3報)

広島地方気象台発表の週間天気予報によると、1月24日(土)～26日(月)にかけて、冬型の気圧配置が強まり、寒気と放射冷却の影響で冷え込み、広島市内の最低気温が-3℃、福山市内では-4℃になることが予想されています。

生産者に対し、次の事項について指導を徹底してください。

1 デコポン・甘夏・レモン（規格に達したものは）は採取を早める（特に外成り果）。

採取したものは仕分けて貯蔵する。

2 樹上越冬用の果実は凍結防止対策を徹底する。

なお、凍結防止対策には下記の方法が有効である。

(1) 寒冷紗等による樹冠の被覆

(2) 果実への袋かけ

3 予措・貯蔵中の果実については、貯蔵庫内、棟下等で低温に遭わさないようにする。室温が2℃以下になる時は毛布の被覆や補助暖房等により保温する。

4 出荷前には、凍結被害を受けて苦味やス上がりの発生した果実の選別に注意を払う。

[HOME](#) | [BACK](#) |